

令和7年度秋田大学大学院
医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）
入学試験問題

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないでください。
2. 問題は2枚、解答用紙は1枚あります。このほか、下書き用紙が1枚あります。印刷不鮮明等、お気づきのことがありましたら、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 試験開始の合図がありましたら、最初に、解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 試験終了後、下書き用紙は持ち帰ってください。

小論文試験問題

令和 4 年 4 月 1 日から育児・介護休業法の改正により、産後パパ育休（出生時育児休業）の創設と育児休業の分割取得等が導入された。下表は、厚生労働省の「令和 5 年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」（速報値）として報告されたデータの一部である。

問 1 表 1 から読み取れることを 200 字以内で述べなさい。

問 2 表 2 から読み取れることと、表 1 と表 2 で得られたデータの内容を参考に、今後必要と考えられる対策について 600 字以内で述べなさい。

解答は、「別紙小論文解答用紙」に横書きで記載しなさい。ただし句読点も字数に含める。

表 1 育児休業を取得しやすい雇用環境整備の取組割合（育休等取得率別）（※複数回答）

(図省略)

表 2 男性の育児休業取得率向上の取組または取得率向上による効果 (n=1385)

(図省略)

- (備考) ・ワークエンゲージメント: 「仕事から活力を得ていきいきとしている」(活力), 「仕事に誇りとやりがいを感じている」(熱意), 「仕事に熱心に取り組んでいる」(没頭) の 3 つが揃った状態。
- ・くるみん認定: 次世代育成支援対策推進法に基づき, 一般事業主行動計画を策定した企業のうち, 計画に定めた目標を達成し, 一定の基準を満たした企業は, 申請を行うことによって「子育てサポート企業」として, 厚生労働大臣から受けた認定。

〈出典〉厚生労働省: 令和 5 年度男性の育児休業等取得率の講評状況調査 (速報値)
<https://www.mhlw.go.jp/content/001128241.pdf> (閲覧日 2024.07.02) より作成

令和7年度秋田大学大学院
医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）
【第2次募集】入学試験問題

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないでください。
2. 問題は2枚、解答用紙は1枚あります。このほか、下書き用紙が1枚あります。印刷不鮮明等、お気づきのことがありましたら、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 試験開始の合図がありましたら、最初に、解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 試験終了後、下書き用紙は持ち帰ってください。

小論文試験問題

下図は、厚生労働省の「医療・介護連携、人生の最終段階の医療・介護（地域包括ケアシステムの深化・推進）」を基に、令和5年に厚生労働省がまとめた報告書の一部である。

問1 図1のデータから読み取れる点と、そこから考えられる要因について自身の考えを200字以内で述べなさい。

問2 図2のデータから読み取れる点と、今後どのような対応が必要か、考えられる対応について「地域包括ケアシステム」と「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」の両方を用いて600字以内で述べなさい。その際、以下に示す【キーワード】を参考にしてもよい。

解答は、別紙小論文解答用紙に横書きで記載しなさい。ただし句読点も字数に含める。

【キーワード】医療技術、医療体制、家族構成、社会構造、高齢化社会、在宅支援体制、終末期、多職種連携など

図1 日本における死亡場所の推移



出典

厚生労働省「人口動態統計（令和3年）」

図2 在宅医療・介護連携推進事業における「4つの場面」を意識した取り組み状況



出典：令和4年度老人保健健康増進等事業「令和4年度在宅医療・介護連携推進事業の実施状況に関する調査」

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001140076.pdf>（閲覧日 2024/07/01）より作成